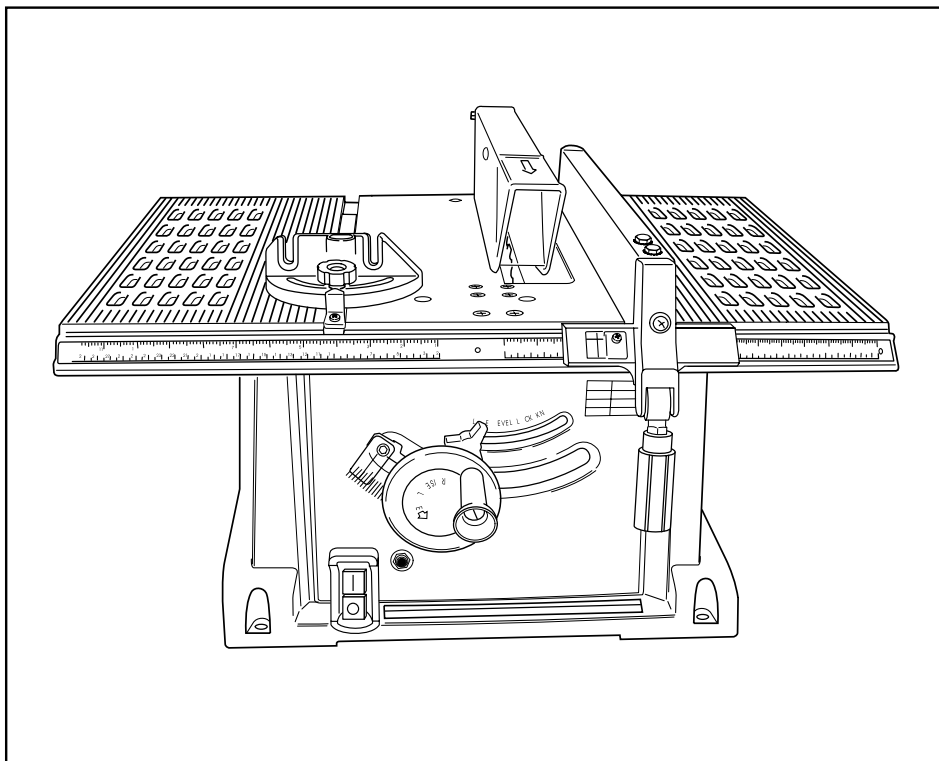


**E-Value**

# テーブルソー 255mm

## ETS-10KN

### 取扱説明書



このたびは E-Value テーブルソー ETS-10KN をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。  
安全に正しくご使用いただくために、本取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。  
また、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

\*外観及び使用などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

# 目次

●安全上のご注意	P1~8
安全確保のために	P1
電動工具を安全にお使いいただくために	P2~5
テーブルソーを安全にお使いいただくために	P6~8
●仕様・各部名称・用途	P9~10
仕様	P9
各部の名称	P9
用途	P10
付属品	P10
●準備	P11~12
ご使用前の準備	P11~12
ご使用前の点検	P12
●使い方	P13~21
ご使用前の調整	P13~15
切断作業	P16~18
保守・点検	P18~21

# 安全上のご注意

## 安全確保のために

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## 警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



:この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



:この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

「△注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注意

この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## 絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。



:この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



:この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



:この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

## 電動工具を安全にご使用いただくために

### ⚠ 警告

#### ■作業場の環境について

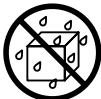


**作業場はいつもきれいに保ってください。**  
●ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。



禁止

**子供を近づけないでください。**  
●作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。  
●作業員以外、作業場へ近づけないでください。



水ぬれ禁止

**作業場の周囲状況も考慮してください。**  
●電動工具は、雨中で使用したり湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。



禁止

●可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

#### ■電気に関する安全事項



感電注意

**感電に注意してください。**  
●電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



禁止

**コードを乱暴に扱わないでください。**  
●コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。  
●コードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。



**屋外使用に合った延長コードを使用してください。**  
●屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



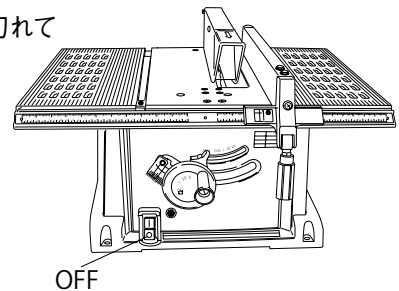
**騒音防止規制について**  
騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。  
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

## ■個人的な警告事項



### 不用意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。



禁止

### きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。



- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



### 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。



禁止

### 作業にあった電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。



禁止

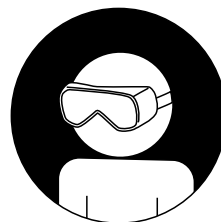
### 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。
- 常識をはたらかせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

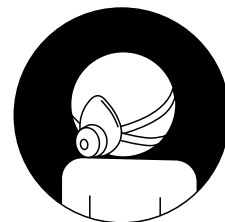


### 保護メガネを着用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また粉塵の多い作業では防じんマスクを着用してください。



保護メガネ着用



防じんマスク着用



**集塵装置が接続できるものは接続してください。**

- 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続し、正しく使用してください。



禁止

**無理な姿勢で作業をしないでください。**

- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。



**防音保護具を着用してください。**

- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。



防音保護着用



**使用しない場合は、きちんと保管してください。**

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。



**材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。**

- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（加工する材料を動かす製品は除く）



**調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。**

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

■工具の使用と手入れ



点検・確認

**損傷した部品がないか点検してください。**

- 使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



よく読む



- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



禁止

- スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- その他危険が予想される場合



電源プラグを抜く



**電動工具は、注意深く手入れをしてください。**

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。



よく読む



点検・確認

- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。



- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが切れないようにしてください。

## ■修理とメンテナンス



禁止

**正しい付属品やアタッチメントを使用してください。**

- 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。



分解禁止

**電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。**

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。

## テーブルソーを安全にご使用いただくために

- 先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、テーブルソーをご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。

### ⚠ 警告

#### ■使用電源に関して



**使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。**

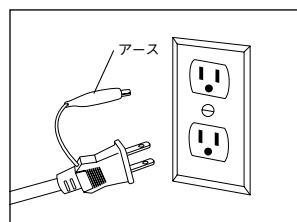
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。



**必ずアース（接地）をしてください。**

- 故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。

(詳細は、11ページの「アース・漏電遮断器設置の確認」の項をご参照ください。)



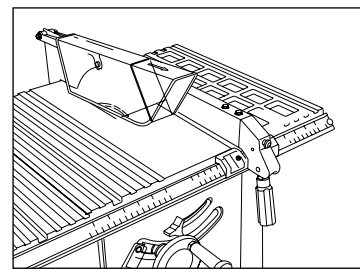
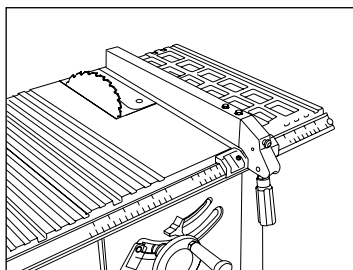
#### ■安全カバーについて



禁止

**安全カバーは必ず取り付けて使用してください。また円滑に動くことを確認してください。**

- 外したまま使用したり、円滑に動かないと、けがの原因となります。



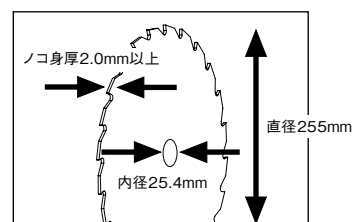
#### ■ノコ刃に関して



禁止

**ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。特にノコ身の厚さは、割刃の厚さより厚いノコ刃を使用してください。**

- キックバック（反発）などにより、けがの原因となります。





## ■切断作業に関して



回転部注意

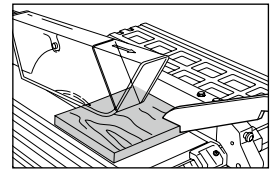
使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。  
●ノコ刃の回転に巻き込まれ、けがの原因となります。



使用中は、工具類（ノコ刃など）や回転部、切りくずなどに手や顔をちかづけないでください。  
●けがの原因となります。



手がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）などの冶具を使用してください。



使用中は、材料をしっかりと保持し、こじれないように切断してください。  
●材料がこじれますと、強い反発力が生じ、けがの原因となります。



禁止

キックバックに注意してください。

●切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻そうとすると、強い反発力（キックバック）が生じ、けがの原因となります。材料を戻す場合は、スイッチを切り、回転が完全に停止してから戻してください。

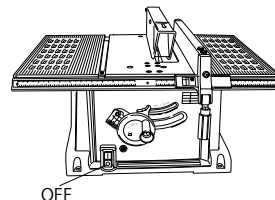
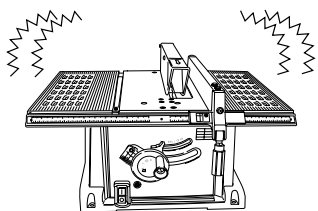
## ■点検・修理に関して



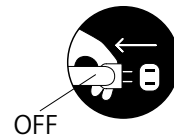
点検・確認

使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
●そのまま使用していると、けがの原因になります。

異常音



OFF



OFF



点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ノコ刃など）や本体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
●破損や亀裂、変形があると、けがの原因となります。

⚠ 警告



よく読む

刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因となります。



点検・確認

ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。

- ノコ刃が破損し、けがの原因となります。



テーブルの上に、工具や切断片などを放置したまま作業しないでください。

- テーブルの上のものが飛散し、けがの原因となります。



禁止

ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。

- ノコ刃に巻き込まれて、けがの原因となります。



材料に釘などの異物がないことを確認してください。

- 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。



禁止

材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。

- けがの原因となります。



平行定規は、確実に固定してください。

- 固定が不十分だと、材料がこじれてけがの原因となります。



禁止

作業台がわりにテーブルの上に乗らないでください。

- 思わぬ事故の原因となります。

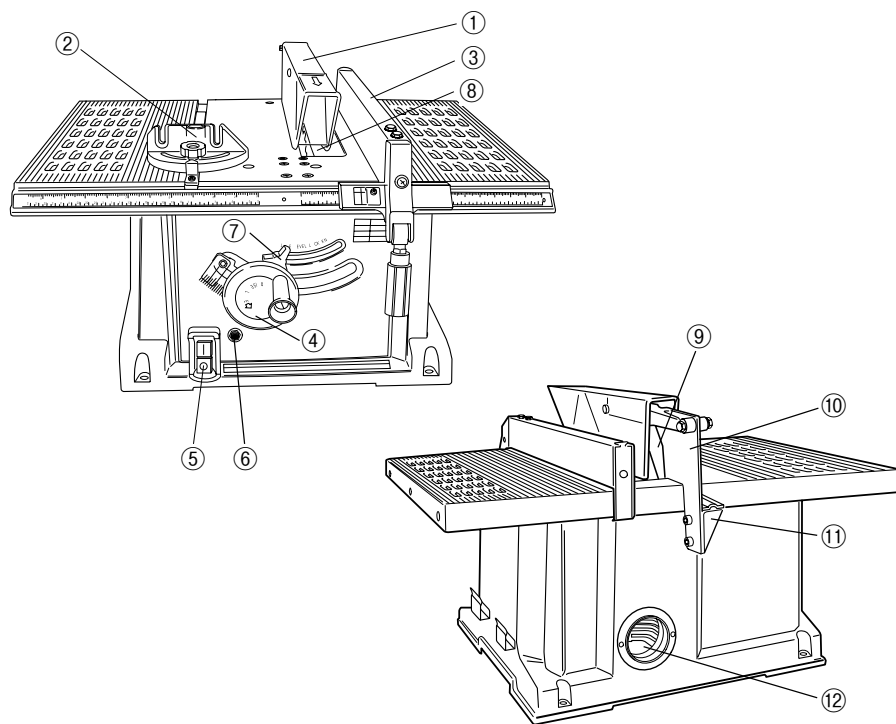
# 仕様・各部名称・用途

## 仕様

品番	ETS-10KN
仕様	
モーター	直巻整流子電動機
電圧	単相交流100V
電流	15A
周波数	50-60Hz
消費電力	1430W
回転数	4200min <sup>-1</sup>
ノコ刃寸法	外径255mm×内径25.4mm
最大切り込み深さ	90度・・・75mm
	45度・・・63mm
機体寸法	奥行580mm×幅660mm×高さ410mm (安全カバー含む)
テーブル寸法	奥行410mm×幅660mm
質量	14kg (スタンド除く)

\*改良のため、仕様および形状などは変更する場合がありますので、御了承ください。

## 仕様



- ①安全カバー
- ②傾斜定規
- ③平行定規
- ④昇降ハンドル
- ⑤電源スイッチ
- ⑥サーキットブレーカー
- ⑦傾斜ロックノブ
- ⑧テーブルインサート
- ⑨返り防止刃
- ⑩割刃
- ⑪安全カバー取付金具
- ⑫集じん口

## 用途

各種木工材料の切断

注) 本機では、金属、石材、炭 (竹炭・木炭) など木工材料以外の切断作業はしないでください。

## 付属品

●組み立て前に各部品の数量を確認願います。

部品名・形状	数量	チェック欄	部品名・形状	数量	チェック欄
本体 	1		スタンドレール (A) 	4	
			スタンドレール (B) 	2	
			スタンドレール (C) 	2	
チップソー (本体に仮止め) 	1		スタンドレール (D) 	2	
			スタンドレール (E) 	2	
修正プッシュ:25.4mm→15.88mm ※本体にチップソーとともに仮止め 	1		スタンドパッド 	4	
六角棒レンチ:4mm,5mm 	各1		ゆるみ止め付き六角ナットM6 	24	
平行定規 	1		根角ボルトM6×12mm 	24	
傾斜定規 	1		ワッシャーM6 	24	
メガネレンチ 	1		ゆるみ止め付き六角ナットM8 	4	
スパナ 	1			六角ボルトM8×40mm 	4
昇降ハンドルノブ 	1				
安全カバー 	1		ワッシャーM8 	4	
プッシュスティック (押し棒) 	1		※部品不足がありましたら、お買い求めいただきました販売店が弊社までお問い合わせください。		

## ご使用前の準備

### ■作業場に関して



- 作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。
- 作業をする場所がページの「電動工具の安全上のご注意」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

### ■延長コードに関して

#### ⚠ 警告



- 延長コードは損傷のないものを用意してください。

電源の位置が離れていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示しています。

コードの太さ (mm <sup>2</sup> )	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～5A	5～10A	10～15A
1.25	20m	—	—
2	30m	15m	10m
3.5	50m	30m	20m

\*延長コードは本機のコードと同じ被覆を施したコードを使用してください。

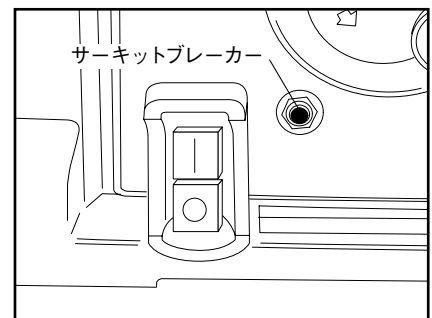
\*延長コードを使用する際は、アース線を備えた3芯キャブタイヤケーブルを使用してください。

#### ■サーキットブレーカーについて（9ページの“各部の名称”参照）

本機にはモーターに通常以上の負荷がかかった際に、自動的にモーターが止まるようサーキットブレーカーが装備されています。

もし、作業中にモーターが停止した場合、ただちに作業を中断し電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのうえで以下の事項をご確認願います。

1. 材料を必要以上に押し付けるなどしてモーターに無理がかかっていないか
2. 鋸刃の切れ味が悪くなっていないか。
3. 電源元がテーブルソーに必要十分な電力を供給出来る状態か  
（タコ足配線、延長コードなどを使用していないか）
4. 延長コードをご使用の際はこの取扱説明書 11 ページを参考に適切な長さ  
と太さでご使用ください。



以上の点をご確認いただき、モーターに負荷がかかる要因（過電流となる要因）を取り除いていただいたうえで、サーキットブレーカーを押し戻してご使用を再開してください。

過負荷になる原因を解消されないまま、サーキットブレーカーを押し戻してご使用を続けられますと、サーキットブレーカーが通常使用時でも作動するようになり（飛び癖がつく）使用できなくなります。

#### ■アース・漏電遮断器設置の確認

##### ⚠ 警告



禁止

アース線をガス管に取り付けますと爆発の恐れがありますので、絶対にしないでください。



点検・確認

ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電源設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器（以下、漏電遮断器と言います）が設置されていることを確認してください。



また、この機体は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電遮断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。アースをするときは、アースクリップをお使いになると便利です。アースクリップ、アース線は、異常のないことを確認してからご使用ください。



点検・確認

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと機体金属外枠との間の導通を確認してください。



地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気店に御相談ください。

## ご使用前の点検

### ⚠ 警告

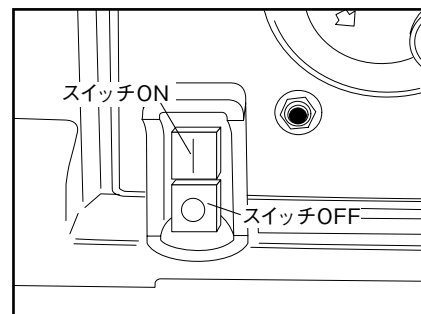


- ご使用前に次のことを確認してください。  
以下の1～3項につきましては、電源プラグをコンセントに差し込む前に確認してください。



1. 電源スイッチが切れていることを確かめます。  
●スイッチが入っていることを知らずに、電源プラグをコンセントに差し込みますと、不意に動き思わぬけがの原因になります。

スイッチは上を押すと入り、下を押すと切れます。



点検・確認

2. 電源を確かめます。  
●本機は100V用です。200V電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高速となり、破損する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。機械の損傷を招くだけでなく危険です。

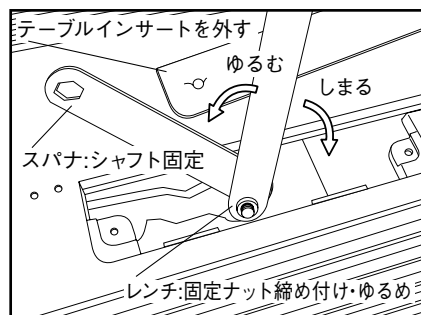


禁止

3. ノコ刃の締め付けを確かめます。  
●工場での組立の際は、すぐにご使用いただけるように、ノコ刃を締め付けてありますが、念のためにお確かめください。

シャフト（回転軸）の付け根にスパナをはめてシャフト、を固定します。次に固定ナットにスパナをかけて奥へ倒すと締まります。

詳しくはP18「ノコ刃の交換方法」の項をご参照ください。



点検・確認

⚠ 警告



万一の事故を防止するために、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

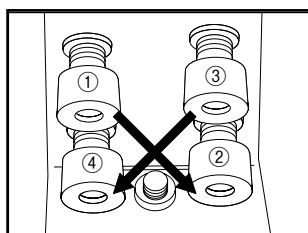
安全カバーは身体がノコ刃に触れるのを防ぐためのものです。安全カバーの作動が不完全なまま使用したり、安全カバーを上げてひもなどで固定したり、取り外したりして使用することは大変危険なため、絶対にしないでください。

■安全カバーの取り付け・調整

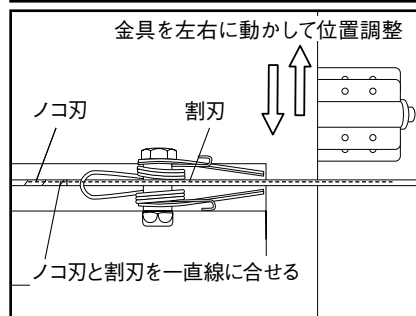
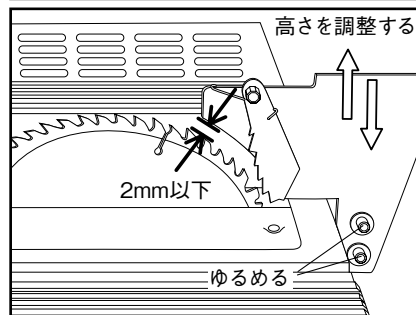
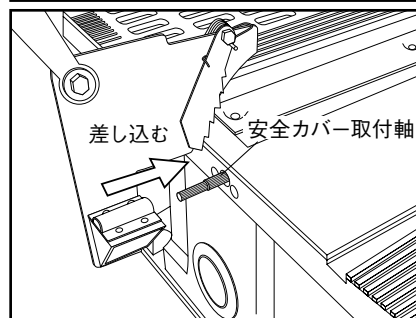
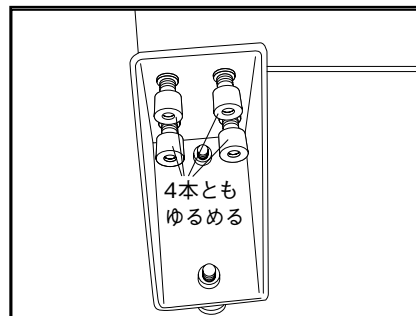
**(注意)** 昇降ハンドルを時計回りに回してノコ刃を最上部にしてください。(切り込み深さの調整の項 P14参照)

- 安全カバー取付金具にある4本の六角穴付ボルトを付属の六角棒レンチでゆるめてください。
- テーブル後方部にある安全カバー取付軸に、安全カバー取付金具を差し込み、付属のワッシャー、バネワッシャー六角穴付ボルトで仮止めしてください。(ワッシャー、バネワッシャー、六角穴付ボルトは、最初安全カバー取付軸に仮止めしています。)
- 安全カバー割刃の側面にある六角穴付ボルトをゆるめて安全カバーの高さを調整してください。安全カバー割刃とノコ刃の先端部が接触しないように調整して、六角穴付ボルトを締め付け、しっかりと固定してください。  
※ノコ刃を傾斜させる際は、六角穴付ボルトをゆるめて、安全カバーをノコ刃に合わせて傾斜させてください。P14「ノコ刃の傾斜角度の調整」参照。
- 刃先に注意しながらノコ刃を手でゆっくりと回して、刃先が安全カバー割刃に当たらないことを確認してください。
- ノコ刃と安全カバーの割刃が一直線になるように安全カバー取付金具を動かして調整してください。調整が終わりましたら調整した位置がずれないように割刃を保持しながら、先に仮止めした安全カバー取付軸側の六角穴付ボルトを締め付けてください。

次に調整した位置がずれないように割刃を保持しながら、安全カバー取付金具側の4本の六角穴付ボルトを対角線上に交互に締め付けてください。

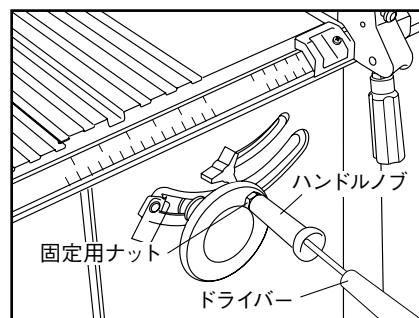


(安全カバーの取付金具)



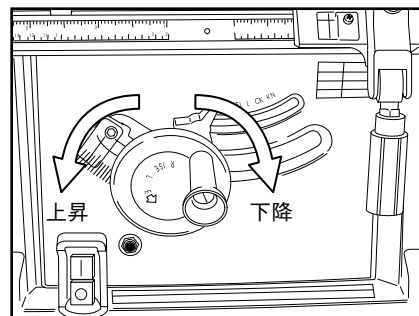
## ■切り込み深さの調整

- 付属の昇降ハンドルノブを、取り付けてください。ハンドルノブの軸をプラスドライバーで回して昇降ハンドル側の取り付けネジ穴に締め込んでください。その後、ハンドルノブのナットを締め付けゆるまないように固定してください。
- 昇降ハンドルを時計回りに回すとノコ刃が下降し、反時計回りに回すとノコ刃が上昇します。



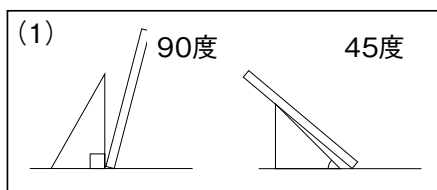
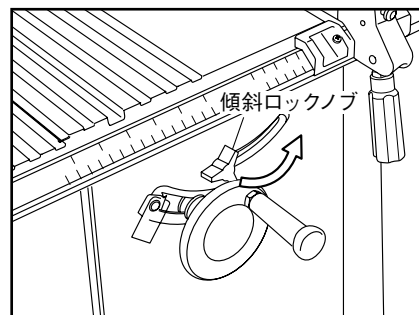
## ■ノコ刃傾斜角度の調整

- 傾斜ロックノブをゆるめて昇降ハンドルを右側へ移動させることで、ノコ刃の傾斜角度を変えられます。
- 昇降ハンドル裏面と、本体につけられた歯車により角度の微調整ができます。昇降ハンドルを本体側へ押し込んだ状態で、昇降ハンドル少しずつ回してください。
- お望みの角度(0～45度)になりましたら、傾斜ロックノブを締め付けて固定してください。  
注) 安全カバーの傾斜角度も合わせて調整してください。P13「安全カバーの取り付け・調整」参照。

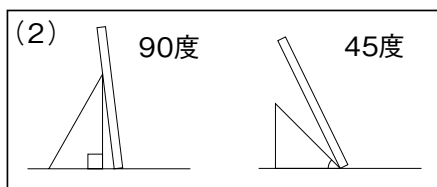


## ■角度ストップボルトの調整

- テーブル上面のストップボルトにモーター部分が当たるところでノコ刃の傾斜は止まるようになっています。
- 昇降ハンドルを回してストップボルトに当たる位置が図の(1)になる場合は、それぞれのストップボルトを時計方向に回して調整してください。図の(2)のようになる場合は、ストップボルトを反時計方向に回して調整してください。



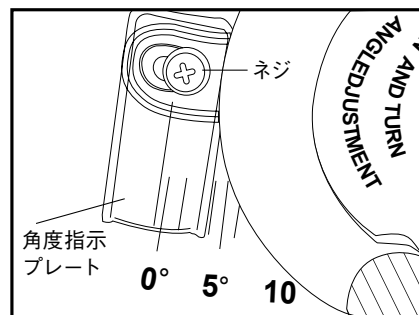
ストップボルトはテーブル裏面から10mm ナットで固くとめてあります。ボルトを緩める際はまず初めに本体の底部からボルトを固定していますこのナットを緩めてください。



調整が終わりましたら、設定が変わらないよう再度ボルトを締め付けてください。



- 角度ストップボルトの調整が終わりましたら角度調整用ストップボルトに当たるところに傾斜ハンドル位置を合わせて固定してください。



この時に角度指示プレートの赤線先端部が0度の位置を示すように調整してください。

角度指示プレートは、プラスドライバーでネジをゆるめて調整してください。



## ■平行定規の調整

- 平行定規のグリップを上げて、テーブル後方の端に平行定規先端部を引っ掛けて、テーブルのレールと定規の溝を合わせてテーブルの端から差し込むように取り付けてください。グリップを下げると固定できます。
- 平行定規の固定がゆるい、また固すぎて固定できない場合は、平行定規にある調整ネジを回して調整してください。調整ネジを時計方向に回すときつくなり、反時計方向に回すとゆるくなります。
- 平行定規の目盛り指示プレートを調整してください。平行定規を任意の位置に固定し、ノコ刃から平行定規までの距離を測って、平行定規の目盛り指示プレートが距離と同じ目盛りを指し示していることを確認してください。

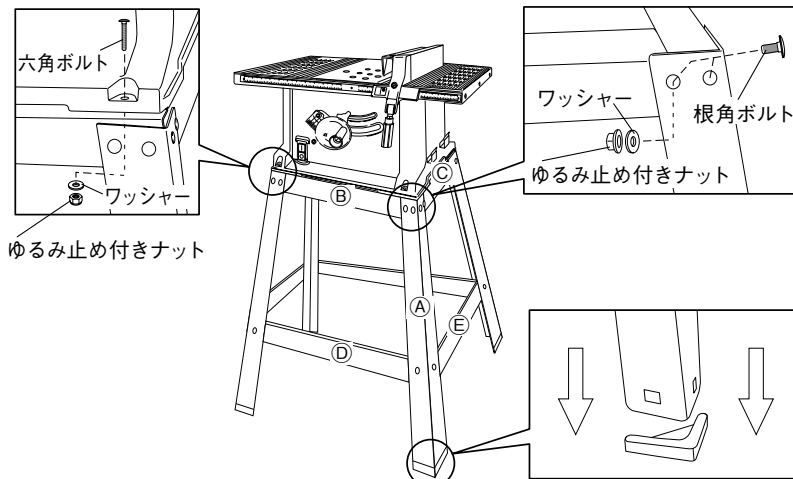
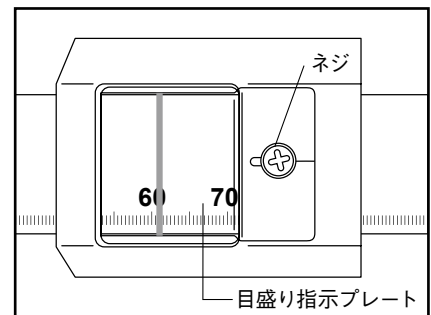
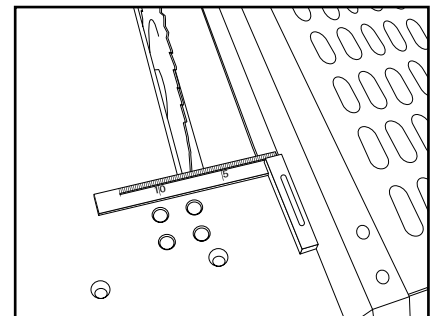
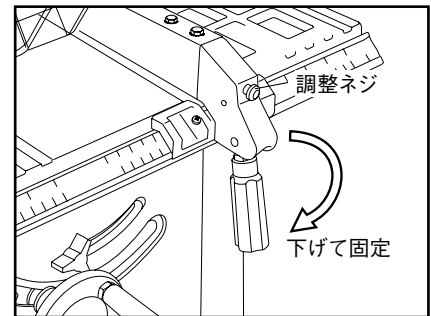
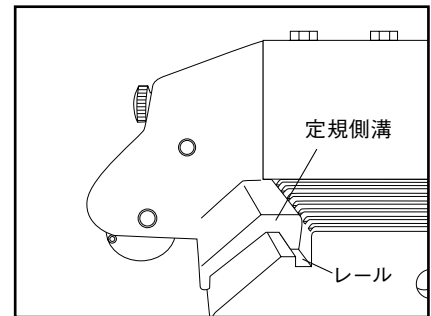
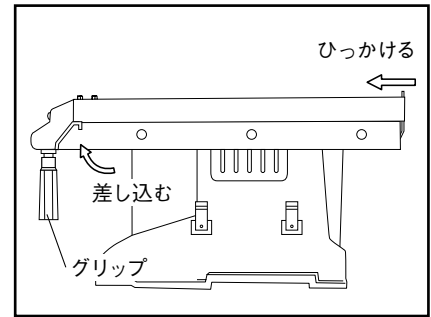
ノコ刃からの距離と、角度定規の目盛り指示プレートが示す目盛りがずれている時は、指針のネジをゆるめて距離と目盛りが合うように調整してください。

## ■スタンドの組み立て

付属のスタンドを組み立てる前に、以下の部品を確認してください。

部品名	数量	部品名	数量
レール (A)	4	ゆるみ止め付六角ナットM6	24
レール (B)	2	根角ボルト	24
レール (C)	2	ワッシャー	24
レール (D)	2	ゆるみ止め付六角ナットM8	4
レール (E)	2	六角ボルト	4
スタンドパッド	4	ワッシャー	4

**(注意)** 各ボルト・ナットは、最初から強く締め付けますと組みあがりに狂いが生じ、ボルトがレールの各穴に通すことができなくなります。最初は、各ボルト・ナットを軽くしめ、全体を組み立てた後、強く・確実に締め付けてください。



## ■切断作業

### ⚠ 警告



手がノコ刃に近づく場合は、必ず付属のプッシュスティック（押し棒）など治具を使用してください。使用中は、材料をしっかりと保持し、こじれないように切断してください。



禁止

●材料がこじられますと、強い反発力が生じ、けがの原因となります。

**切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。**

●ノコ刃を回転させたまま材料を戻しますと強い反発力が生じ、けがの原因となります。材料を戻す際は、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。

### ⚠ 注意



禁止

**ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。**

●ノコ刃の回転に巻き込まれ、けがの原因となります。

**材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。**

●けがの原因となります。

**平行定規は確実に固定してください。**

●固定が不十分ですと、材料がこじれてけがの原因となります。

**切断中は材料をこじたり、浮かしたりしないでください。**

●材料が反発することがあり、けがの原因となります。

**小さな材料、幅の狭い材料を加工するときは、必ずプッシュスティックなどの押し具を使い手で直接保持しないようにしてください。**

●ノコ刃に手が触れけがの原因となります。

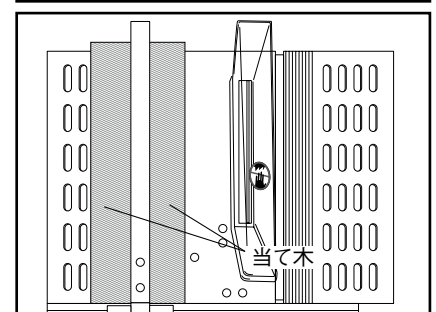
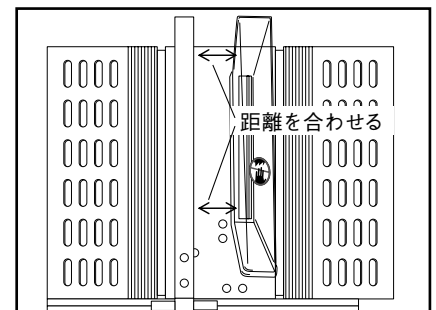
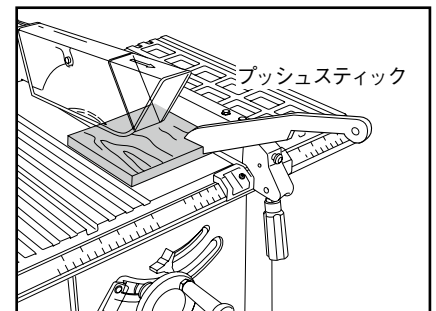
## ■縦挽き切断

切断したい長さに合わせて平行定規を合わせて固定してください。

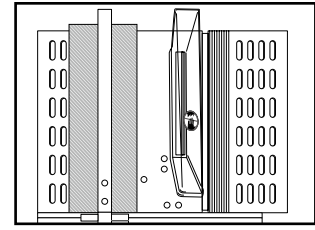
平行定規のそれぞれ前と後ろから、ノコ刃までの距離を測り、正確に合わせてください。特に平行定規の後部とノコ刃との距離が、平行定規の前部とノコ刃の距離と比べて狭くなっていると、材料が送りの途中で平行定規とノコ刃につかえて、送れなくなります。

次にテーブルの上に材料をのせて、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。材料を両手でしっかりと保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに送材し、切り終わるまでこの状態を保ちます。

- 特に堅い木材を切断する場合は、できるだけゆっくりと送材してください。美しい切断面を得るためには、一定の速さで真っ直ぐに材料を押しすすめてください。
- 長い材料を縦引き切断する時は、テーブルの後方にお手持ちの、テーブルと同じ高さの補助台を併用してください。
- 材料がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）を使用してください。
- ノコ刃と平行定規が接近する場合は平行定規の側面に当て木をしてください。当て木には、木板・プラスチック板などを使用し、ボルトナットや接着剤等で、しっかりと剥がれないように取り付けてください。



**(注意)** 平行定規をテーブル面にセットしたのち、平行定規底面とテーブル表面との間には1~2mmの隙間が生じます。3mm以下の薄物を切断される場合は予め平行定規に当て木をして隙間をなくしてから作業を行ってください。またノコ刃と平行定規との距離が近くなる場合も、同様に当て木を行ってください。



**(注意)**

- 材料の急激な送りは避けてください。モーターに負担がかかり故障の原因となります。
- 安全カバーは、直角切断、傾斜切断時に、スムーズに作動し、かつ、ノコ刃を覆うことを確認してから作業を始めてください。
- 薄い材料の場合、ノコ刃の切り込み深さを材料の高さより少し大きな(3mm程度)切り込み深さになるように調整しますと、切り口が美しく仕上がります。

### ■横挽き切断

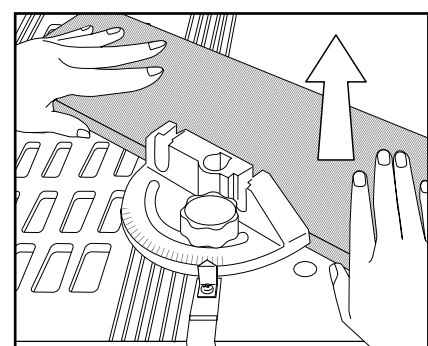
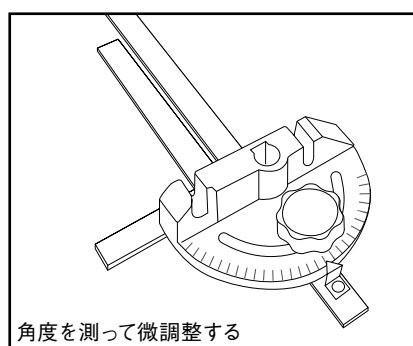
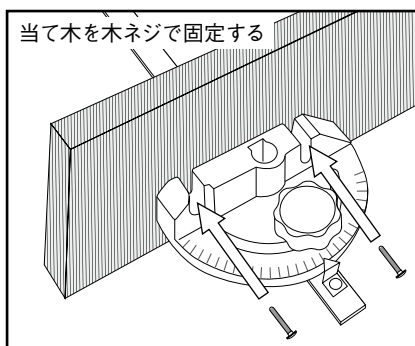
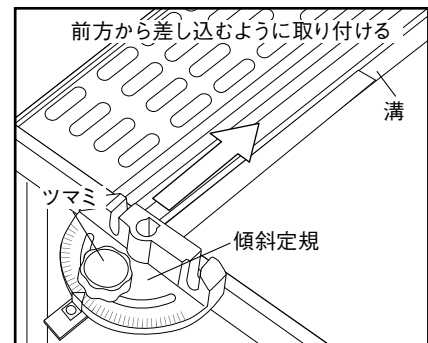
**(注意)** 横引き切断の際は、平行定規を取りはずしてください。

- 長い材料を横挽きする際は、テーブルの横に、お手持ちのテーブルと同じ高さの補助台を設けてください。

### ■傾斜定規の使用方法

テーブル上の左右2本の太い溝の端部から、傾斜定規のバーを差し込むように取り付けます。傾斜定規にありますツマミをゆるめてお好みの角度に合わせて材料を傾斜定規の面に当てて静かに前方へ送り切断します。

また、傾斜定規の面に当て木を固定することでより安定して作業ができます。例えば、傾斜定規の面より長く、幅のある当て木を固定することで長尺の角材をより安定して支えられるようになります。



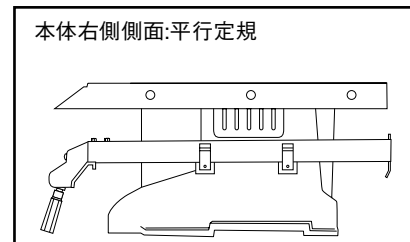
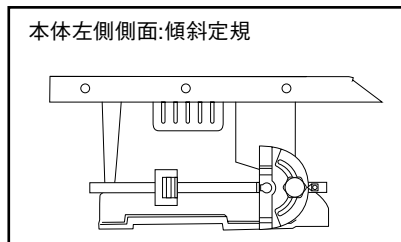
傾斜定規についている角度目盛りにつきましては、目安としてご使用ください。正確な角度切断をされる際は、角度定規、スコヤなど用いて、調整を行ってください。

**(注意)**

- 切断中に傾斜定規から材料がずれたり、離れたりしないようしっかりと保持してください。特に斜めに切断する時は、材料が動きやすいので、十分注意してください。

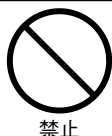
## ■傾斜定規、平行定規の収納

傾斜定規は本体左側側面に平行定規は本体左側側面に収納できます。



## 保守・点検

### ⚠ 警告



万一の事故を防止するために、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

### 各部取り付けネジ

- 各部品の固定ネジにゆるみやガタつきがないか定期的に点検してください。

### 安全カバーの作動点検

- 安全カバーがスムーズに作動するか確認してください。

### 作業後の保管

- 作業後は必ず電源元よりプラグを抜いて、お子様の手の届かない場所へ保管してください。また、長期間使用しない場合は、ほこりやサビが付かないようにして保管してください。

### 清掃

- 粉塵やおが屑はこまめに取り除いてください。特にモーター・スイッチ周辺は粉塵の影響により故障が発生しやすいので注意してください。テーブル面やノコ刃に付着した、にかわや松ヤニも丁寧に取り除いてください。特にノコ刃に付着した樹液は、切断効率が低下させ、モーター負荷が大きくなり故障の原因となります。

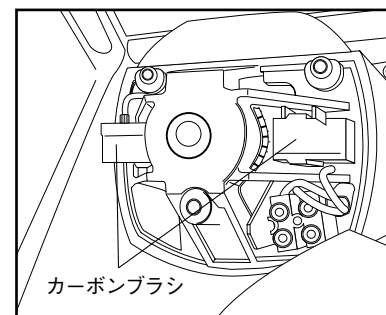
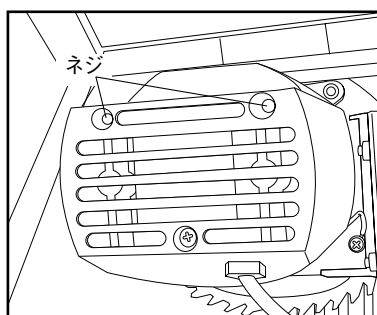
### モーター部の清掃について

- モーターのカーボンブラシ周辺は粉塵の影響が大きいため定期的に清掃してください。方法は以下の通りです。昇降ハンドルを回して、モーターを一番したまで下げ、モーター傾斜角度を45度にして固定してください。図のようにモーター後部の3点のプラスネジを外しカバーをずらしてください。この時カバーを強く取り外しますとカーボンブラシも外れる恐れがありますので、慎重にカバーをずらしてください。カーボンブラシが外れないよう抑えながら、エアブローガンや掃除機で粉塵を取り除いてください。

### 注油

- 昇降ハンドルや昇降ガイド軸
- モーター傾斜軸取り付け部
- モーター昇降駆動アーム部・安全カバーの回転部
- 平行定規の駆動部

### ■ノコ刃の交換方法



### ⚠ 警告

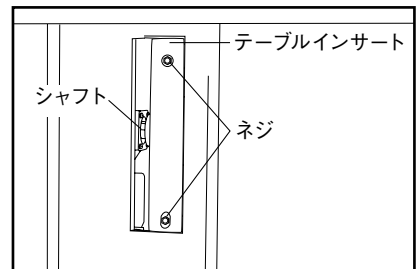


万一の事故を防止するために、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。

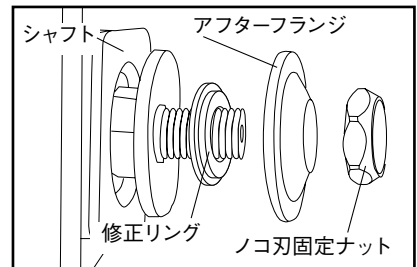
ノコ刃の切れ味が悪くなりますと切断能力が低下し、仕上げも悪くなります。また本機への負担も増加し故障の原因となりますので、切れ味が悪くなったノコ刃は 早めに交換してください。

- テーブルインサート前後の2つのネジをゆるめて、テーブルインサートを外します。
- 昇降ハンドルを時計方向に回して、ノコ刃取付シャフト部分を上へ上げてください。
- ノコ刃固定ナットとアフターフランジを外してください。



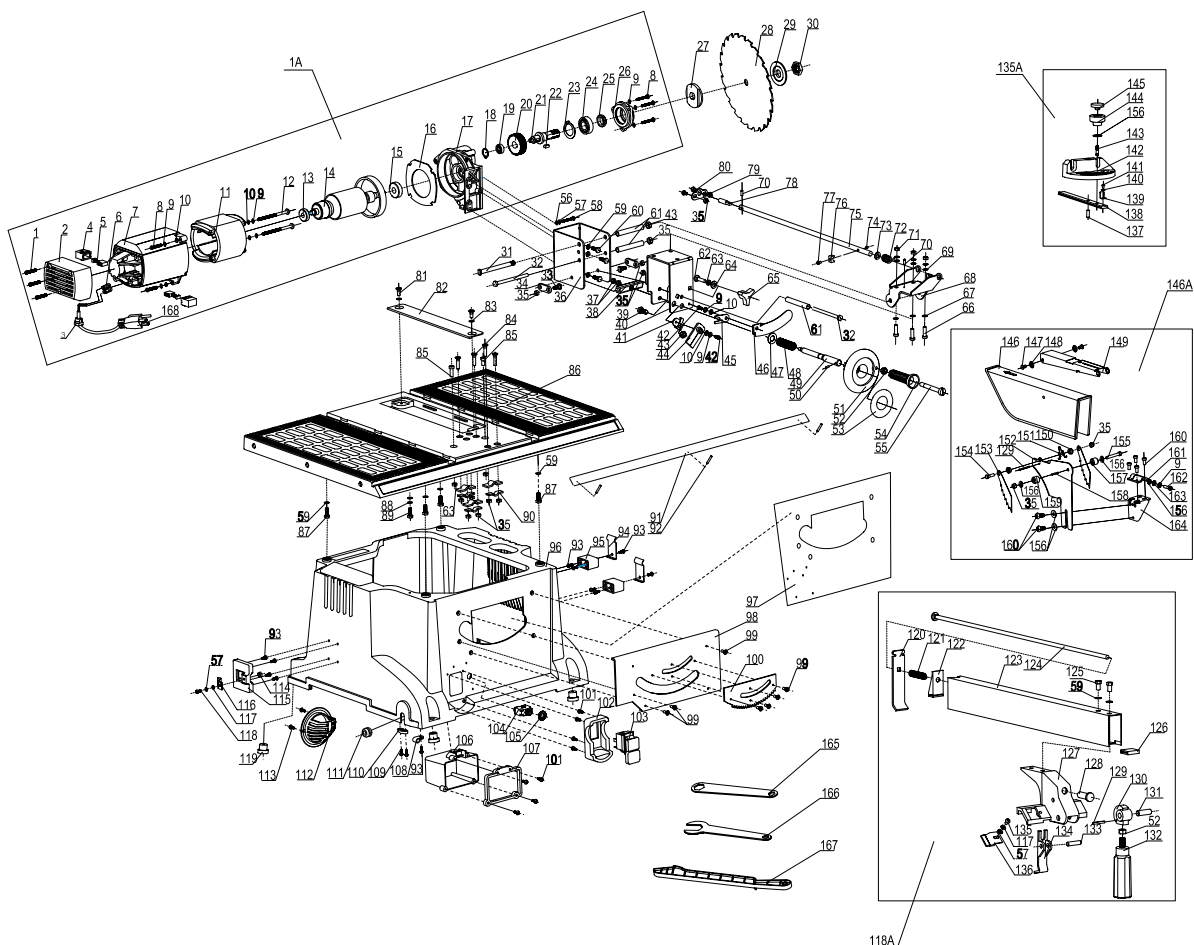
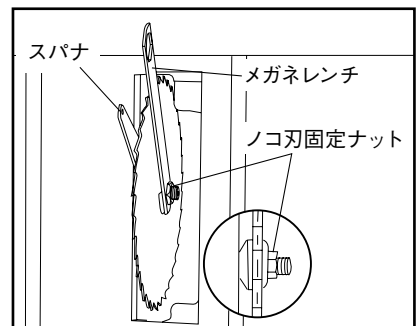
**(注意)** ●ナットが固くて外せない場合は、P12「ご使用前の点検ノコ刃の締め付けの確認」を参照して、付属のレンチ・スパナでゆるめてください。

- ノコ刃をシャフトに取り付けます。シャフトの直径はφ 15.88mmですが、付属のノコ刃は取付穴径 25.4mmです。そのため本機ではφ 25.4mm⇒φ 15.88mmに修正するリングを併用しています。



**(注意)** ●ノコ刃の取り付けの際は、ノコ刃の歯の向きがテーブルの前方向かって下向きになるよう確認して取り付けてください。

- アフターフランジをノコ刃の上に取り付け、手で固定ナット仮締めします。
- 固定ナット締め付けるため、付属のスパナを使ってシャフトを固定します。シャフトにはスパナを取り付けるため平行な面がありますので、軸をゆっくり回転させながらスパナをシャフトに取り付けてください。
- メガネレンチをノコ刃固定ナットに取り付け、時計回り（テーブルの後方向）に倒してしっかりと締め付けます。
- ノコ刃を手でゆっくりと回転させ、正常に取り付けられているか確認してください。
- テーブルインサートを2つのネジで取り付けます。



### 3) カッターヘッド部分

番号	部品名	規格	数量	番号	部品名	規格	数量
1A	モーター Ass'y	番号 1 ~ 26 まで		45	ブロックプレート		1
1	ネジ	ST × 16	3	46	フィンガーボード		1
2	リアカバー		1	47	波ワッシャー	10mm	5
3	コードクランプ		1	48	バネ		1
4	ブラシホルダー		2	49	調整ボルト		1
5	カーボンブラシ		2	50	ピン	2.5 × 22mm	1
6	ワイヤーコネクター		1	51	昇降ハンドル		1
7	モーターハウジング		1	52	ナット	M8	2
8	ネジ	M5 × 30	6	53	ホイールラベル		1
9	スプリングワッシャー	5mm	11	54	昇降ハンドルノブ		1
10	平ワッシャー	5mm	8	55	ネジ		1
11	ステーター		1	56	ギアワッシャー	4mm	1
12	ネジ	M5 × 78	2	57	平ワッシャー	4mm	4
13	ベアリング	629Z	1	58	ネジ	M4 × 10	1
14	ローター		1	59	ロックワッシャー	6mm	12
15	ベアリング	6201	1	60	ボルト	M6 × 16	3
16	フードカバー		1	61	シャフトチューブ		3
17	ギアボックス		1	62	ネジ		1
18	C リング	14mm	1	63	ナット	M6	4
19	ベアリング	607Z	1	64	ワッシャープレート		1
20	ギア		1	65	固定ノブ		1
21	スピンドル		1	66	ネジ		4
22	キー	A5 × 12	1	67	スプリングワッシャー		16
23	C リング	35mm	1	68	サポートボード B		1
24	ベアリング	6003	1	69	平ワッシャー	6mm	5
25	ブッシング		1	70	スプリングピン 0	4 × 8mm	3
26	ギアボックスカバー		1	71	ナット		3
27	インナーフランジ		1	72	スプリング		1
28	ノコ刃		1	73	平ワッシャー		1
29	アウターフランジ		1	74	ナット	10mm	1
30	ノコ刃固定ナット		1	75	ピポッドロッド	M5	1
31	ピン		1	76	軸受け		1
32	ネジ	M6 × 85	1	77	ネジ	M5 × 22	1
33	ピン		1	78	リアシャフト		1
34	接続プレート		1	79	プレート		1
35	ロックナット	M6	14	80	ネジ	M6 × 25	1
36	昇降サポート		1	81	ネジ	M5 × 12	2
37	ナット		2	82	テーブルインサート		1
38	昇降ピン		1	83	ワッシャー	5mm	1
39	ボルト	M8 × 18	2	84	ネジ		1
40	サポートボード A		1	85	ネジ	M6 × 25	2
41	スケールボード		1	86	ワークテーブル		1
42	ネジ	M5 × 10	2	87	ボルト	M6 × 25	1
43	ナット	M8	2	88	ギアワッシャー		1
44	角度指針		1	89	六角ネジ	M5 × 8	1

番号	部品名	規格	数量	番号	部品名	規格	数量
90	軸受けプレート		6	134	前面プレート		1
91	目盛ラベル		1	135A	マイターゲージ Ass'y	番号 137 ~ 145	
92	リベット	2 × 6mm	3	135	ネジ	M4 × 6	1
93	ネジ	ST4 × 12	11	136	指針		1
94	スプリングプレート		2	137	ピン		1
95	フェンスベース		2	138	ゲージバー		1
96	ベース		1	139	傾斜指針		1
97	フロントラベル		1	140	スプリングワッシャー		1
98	インナープレート		1	141	ネジ	M4 × 6	1
99	ネジ	M4 × 8	9	142	傾斜定規		1
100	ギアプレート		1	143	アングルボルト		1
101	ネジ	ST4 × 16	8	144	ロックノブ		1
102	スイッチベース		2	145	ノブカバー		1
103	スイッチ		12	146A	安全カバー Ass'y	番号 146 ~ 164	
104	サーキットブレーカー		3	146	カバー		1
105	ブレーカーナット		3	147	ブロックピン		2
106	スイッチボックス		1	148	スプリングワッシャー		2
107	防じんリング		1	149	ガードアーム		1
108	ワイヤーホルダー		1	150	ブッシュ		2
109	ネジ	ST4 × 16	2	151	スプリング		2
110	コードクランプ		1	152	割刃		1
111	ゴムリング		1	153	返り防止刃	M6 × 22	2
112	集じんカバー		1	154	ボルト	M6 × 40	1
113	ネジ	ST4 × 16	2	155	ボルト	6mm	2
114	ナット	M4	1	156	平ワッシャー		6
115	マイターゲージ受け		1	157	ブロックブッシング-右	3 × 10mm	1
116	スプリングプレート		1	158	スプリングピン		1
117	スプリングワッシャー	4mm	2	159	ブロックブッシング-左		1
118A	平行定規 Ass'y	番号 120 ~ 136		160	六角ボルト	M6 × 12	6
118	ネジ	M4 × 10	1	161	プレスプレート		1
119	ゴム足		4	162	六角ボルト	M5 × 20	1
120	リアプレート		1	163	平ワッシャー	5mm	1
121	スプリング		1	164	サポートベース		1
122	スプリング固定板			165	メガネレンチ		1
123	フェンス		1	166	スパナ		1
124	ボルト		1	167	ブッシュスティック		4
125	六角ボルト	M6 × 10	1	168	電源コード		1
126	ワッシャープレート		2				
127	フェンスサポート		1				
128	ロングナット		1				
129	スプリングピン	3 × 22mm	2				
130	可変軸受け		1				
131	ピン		2				
132	ハンドルノブ		1				
133	ピン		1				

# 保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	テーブルソー 255mm ETS-10KN		お買い上げ日		保証期間
			平成	年	月
お客様	住所	〒			
	ご芳名				
	電話	( )			
販売店	住所				
	店名	☎ ( )			

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - (ニ) 本書の提示がない場合。
  - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元：藤原産業株式会社  
兵庫県三木市福井2115-1  
TEL. 0794-86-8200 (代)